

神戸大学校友会ニュースレター

いつも校友会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

— インフォメーション —

【1】トピックス

- (1) 坂井信也校友会会長へのインタビュー
世代や学部超え、大学の一体感を
- (2) 校友会奈良県支部からのご報告
- (3) 神戸大学がラジオ関西で情報発信 「神戸大学☆夢ラボ」

【2】お知らせ

- (1) 「大学病院改革プラン」を策定
- (2) 浙江大学から訪問
- (3) 近畿大学×神戸大学 SDGs フォーラムを開催
- (4) キャンパスアジア・プラス・プログラム参加学生が表敬訪問
- (5) 海神丸を利用したドローン実証実験の成果報告を公開
- (6) ボローニャ大学から訪問
- (7) 藤澤正人学長が「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）キックオフシンポジウム」に登壇
- (8) チュラロンコン大学文学部の協力を得て国際共同授業を実施
- (9) 神戸大学医学部附属地域医療活性化センターで手術支援ロボット「hinotori™」を用いた手術手技向上研修を開始
- (10) 阪神・淡路大震災の教訓を未来へつなぐ
—神戸新聞社との連携で授業を実施—

【3】研究ニュース

- (1) 冷やした顕微鏡で氷と液体が接する界面を分子レベルで初計測！
- (2) XENONnT 実験での太陽ニュートリノによる原子核散乱事象の測定結果
- (3) 運動時の脂肪の燃えやすさを決めるタンパク質を同定
- (4) 国内で最も絶滅リスクの高いチョウ、オガサワラシジミの繁殖途絶の原因を解明

【4】受賞・受章

- (1) 池田直樹助教が「2024 年度日本社会学史学会奨励賞」を受賞
- (2) 「日本留学 AWARDS2024」西日本地区国公立大学部門で入賞
- (3) 佐川眞人氏が「欧州発明家賞」と「中日文化賞」を受賞

【5】フィーチャー

- (1) 「農」を通じた地域と大学の連携―その実践から生まれるものは？
- (2) スポーツチームを医学で支える ―神戸大学の整形外科―

【6】特集

- (1) 阪神・淡路大震災30年特設ページ

【7】イベント等情報

- (1) 2024 年度企画展『神戸からの船出 ―近代日本・貨客船の光彩―』
- (2) その他のイベント情報

【1】トピックス

(1) 坂井信也神戸大学校友会会長へのインタビュー

世代や学部超え、大学の一体感を

坂井信也神戸大学校友会会長へのインタビュー記事が神戸大学ホームページに掲載されました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240701-65769/>)

(2) 校友会奈良県支部からのご報告

神戸大学校友会奈良県支部の2024年度総会を、6月16日橿原神宮養正殿にて開催いたしました。当日は、奈良県内外から41名の同窓生が参加し、新たな交流を楽しむ場となりました。

支部長の挨拶の後、前年度の会計および活動報告、支部役員の改選、今年度の活動計画が報告され、満場の賛成を得て可決されました。

今年の講演は、2025年日本国際博覧会協会企画局企画部担当部長高見明伸氏により、「2025年関西万博のみどころ」をご紹介いただき、興味深く拝聴いたしました。

続いて、神戸大学落語研究会OB会9代目会長の近田昌良氏による、「おかげさまで還暦～落語研究会60年の歩み～」と題した講演の後、現役大学生による落語を実演いただき、会場は笑いの渦に包まれました。

その後、現役大学生も交えて懇親会が催され、美味しい食事と共に、会員同士のさらなる交流が深められ、新たな関係が構築できたことは支部活動の大きな成果でした。引き続き、校友の絆を大切に、神戸大学の更なる発展を願っていきます。



(3) 神戸大学がラジオ関西で情報発信 「神戸大学☆夢ラボ」

神戸大学初となるラジオ関西の番組「神戸大学☆夢ラボ」の放送が、2023年4月2日からスタートしており、神戸大学が持つ「知」を広く情報発信し、各専門分野の研究者が研究のきっかけや研究成果の社会への影響などをリレー形式で伝えています。

放送は毎週日曜日の午前8時45分から15分間、進行役は神戸大学出身のラジオ関西パーソナリティ・天宮 遥さんが務めています。

以下のサイトから、放送当初に遡ってご視聴いただけます。

<https://jocr.jp/programsite/yumelabo/>

【2】お知らせ

(1) 「大学病院改革プラン」を策定

文部科学省より各国公私立大学病院に要請があり、神戸大学医学部附属病院における「大学病院改革プラン」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

○詳細については、病院ホームページをご確認ください。

(<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/about/kaikaku.html>)

(2) 浙江大学から訪問

6月26日、中国の浙江大学より周江洪（シュウ・コウコウ）副学長が、玉置久理事・国際連携推進機構長を訪問しました。

懇談には、浙江大学より程麗（テイ・レイ）社会科学研究院副院長、褚馳恒（チョ・チコウ）国際協力交流処副所長、趙志栄（チョウ・シエイ）公共管理学院院長、張楚韻（チョウ・ソウン）国際協力交流処事務員、神戸大学から松山秀人国際連携推進機構副機構長・先端膜工学研究センター長、胡云芳経済学研究科教授・北京拠点長が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240702-65785/>)

(3) 近畿大学×神戸大学 SDGs フォーラムを開催

6月28日近畿大学×神戸大学 SDGs フォーラム（第9回神戸大学 SDGs フォーラム）を開催しました。

第2回となる今回のフォーラムでは、「TEAM EXPO 2025」テーマセッションとして「共創によるアイデアの創出と地域連携」を大テーマに、神戸市副市

長黒田慶子氏を迎え「里山環境」を議題としてディスカッションを行いました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240702-65786/>)

(4) キャンパスアジア・プラス・プログラム参加学生が表敬訪問

7月1日、神戸大学キャンパスアジア・プラス・プログラムで8月にラオス国立大学短期研修に参加予定の学生が、事業推進責任者の玉置久理事・国際連携推進機構長を表敬訪問しました。

神戸大学大学院国際協力研究科からキャンパスアジア・プラス・プログラム実施委員長の西谷真規子教授、実施副委員長の小川啓一教授、キャンパスアジア室担当の中原雅人助教、佐々木事務課長、逢坂特命技術員が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240703-65790/>)

(5) 海神丸を利用したドローン実証実験の成果報告を公開

神戸大学大学院海事科学研究科は、昨年度において兵庫県と NIRO（公益財団法人 新産業創造研究機構）の進める「ドローン社会実装促進実証事業（令和5年度）」に採択された株式会社國森様（事業パートナー：セブントゥーフアイブ株式会社様）と共同研究契約を結びました。

この共同研究では、海神丸を一般商船にみたてて、船舶の運航管理における保守・整備・受検等の各種作業にドローンを適用し、安全性や経済性の確保、

さらには、客観的データ取得と応用についての知見を得ることを目的としました。

深江キャンパスに係留中の海神丸において機関室、その他船内外の人間がアクセスし難い各種設備・箇所の映像を取得し、状況の把握・検査に十分耐えられることを確認しました。

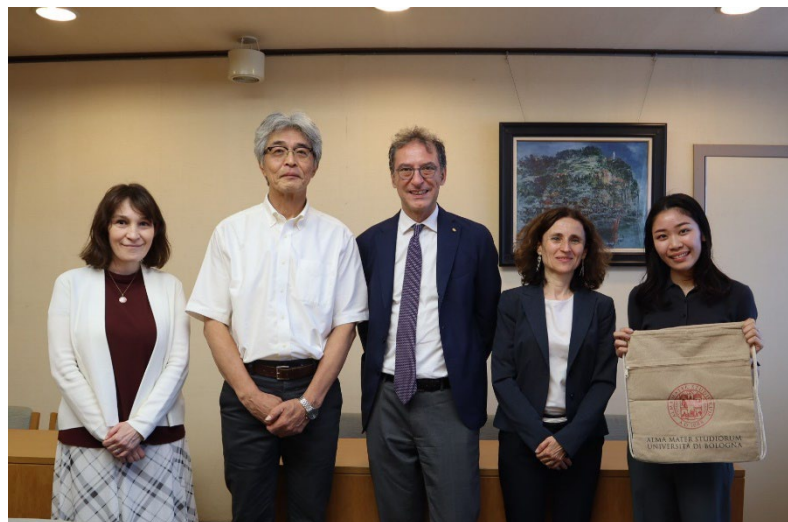
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.maritime.kobe-u.ac.jp/study/20240704.html>)

(6) ボローニャ大学から訪問

7月5日、ボローニャ大学の Giovanni Molari(ジョバンニ・モラーリ)学長及び Raffaella Campaner(ラファエラ・カンパネル)副学長が、玉置久理事・国際連携推進機構長を訪問しました。

懇談には、神戸大学から花田エバ国際連携推進機構准教授、ボローニャ大学に留学経験がある神戸大学の学生が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240710-65809/>)

(7) 藤澤正入学長が「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）キックオフシンポジウム」に登壇

7月5日、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）キックオフシンポジウム」が東京・丸ビルホールにて開催されました。

本シンポジウムは、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）について、一般にも広く情報発信するとともに、神戸大学を含む2023年度に

採択された全 12 大学の取組事例の紹介や伴走支援の説明及び大学間の交流等を目的として、日本学術振興会主催、文部科学省共催として開催されたものです。

神戸大学からは、藤澤正人学長が登壇し、『～「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」を目指して～バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界をリードするイノベーションを継続的に創出する地域中核のグローバル・イノベーション・キャンパス』と題し、神戸大学の強みを結集したデジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク（DBLR）のバイオものづくり共創研究拠点を中心に、本事業を通して描く 10 年後の大学ビジョンやそれに至るまでの研究力向上戦略等について紹介しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240708-65802/>)

(8) チュラロンコン大学文学部の協力を得て国際共同授業を実施

神戸大学大学教育推進機構教養教育院開講の高度教養科目「複言語共修セミナー：外国語としての日本語」（主担当：村山かなえ異分野共創型教育開発センター特命講師・副担当黒田千晴グローバル教育センター准教授）において、チュラロンコン大学文学部東洋言語学科ユッパワン・ソーピットヴッティウォン文学部准教授の協力を得て国際共同授業を実施しました。

当該授業科目は、多文化理解を考える手がかりとして、外国語としての日本語を多角的に見つめることにより、受講生が自身の言語学習活動を省察すると同時に、異なる言語や文脈における物事への洞察力を涵養することを目的とし

ています。当該授業は、国内学生と交換留学生を含む留学生が共に学ぶ国際/多文化間共修授業として昨年度より開講しています。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240716-65818/>)

(9) 神戸大学医学部附属地域医療活性化センターで手術支援ロボット「hinotori™」を用いた手術手技向上研修を開始

神戸大学医学部では、兵庫県からの支援の下、神戸大学医学部附属地域医療活性化センター（先端外科医療・内視鏡トレーニングセンター）において、国産初の手術支援ロボット「hinotori™」（以下、「hinotori」）を新たに設置する運びとなりました。

近年、一般消化器外科領域のみならず、肝胆膵外科、呼吸器外科、産科婦人科、泌尿器科、小児外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、心臓血管外科など幅広い外科系領域手術においては、従来の開腹手術による大きな切開創部による傷をなくし、術後疼痛の軽減や整容性が保たれ、拡大視野による微細な手術操作により出血量や術後合併症が少ないことから、腹腔鏡など内視鏡手術が普及してきました。先端外科医療・内視鏡トレーニングセンターにおいては、従来から、兵庫県内の若手外科系医師の教育、スキルアップのために、7診療科が年間約15回の内視鏡トレーニングセミナーを実施してきました。その結果、兵庫県内に多くの外科系医師が腹腔鏡手術をはじめとする内視鏡手術の技術習得、スキルアップなどの成果を上げ、兵庫県内の多くの病院において技術を持った医師の派遣ができるようになってきました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240712-65816/>)

(10) 阪神・淡路大震災の教訓を未来へつなぐ

—神戸新聞社との連携で授業を実施—

阪神・淡路大震災から来年で30年となるのを前に、神戸大学と神戸新聞社が連携し、震災の教訓や将来への備えについて考える授業が6月11日と7月9日、神戸大学で行われました。全学共通科目「阪神・淡路大震災と都市の安全」の一環で、約170人の学生が受講。阪神・淡路大震災をはじめとする過去の災害から、災害情報との向き合い方や防災・減災の取り組みなどを学び、それぞれが「命を守るための備え」について考えました。

初回は、神戸新聞社経営企画局の富居雅人局次長が「情報で、いのちを守る」と題して講義しました。過去の災害を例に、デマやフェイク画像の拡散、根拠のない情報から日用品の買い占めが起きた状況などを説明。メディアリテラシーの必要性を強調しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240719-65826/>)

【3】研究ニュース

(1) 冷やした顕微鏡で氷と液体が接する界面を分子レベルで初計測！

神戸大学大学院理学研究科の大西洋教授（兼 分子科学研究所特別研究部門教授）、柳澤瞭大学院生らと、分子科学研究所の湊丈俊主任研究員らの研究グループは、不凍液に浸した氷の表面形状を冷却ボックスで冷やした原子間力顕微鏡を使って精密に計測し、高さが0.1 nm（髪の毛の太さの百万分の一）の階段状の構造が氷表面に発生することを見いだしました。0.1 nmは氷を構成するH₂O分子一個に匹敵する微小な高さです。氷と液体が接する界面の形状をこれほど精密に計測した研究はこれが初めてです。このような計測の応用範囲を広

げること、氷のサイエンスとエンジニアリングを進展させることが期待されます。

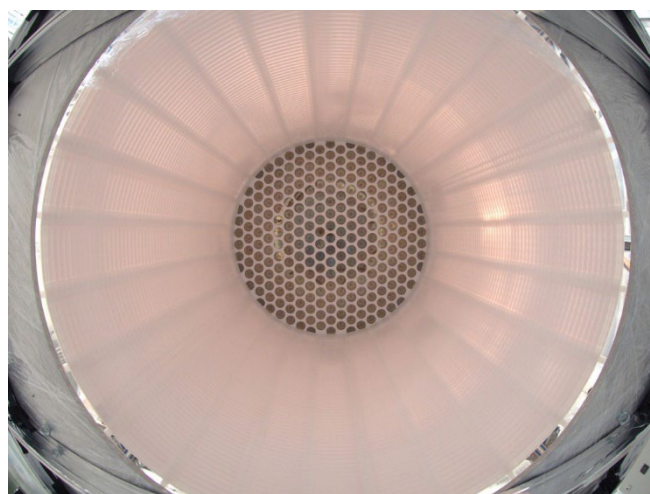


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240709-65677/>)

(2) XENONnT 実験での太陽ニュートリノによる原子核散乱事象の測定結果

神戸大学大学院理学研究科をはじめとして、東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU, WPI)、東京大学宇宙線研究所、名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 (KMI)、名古屋大学宇宙地球環境研究所が参加する、米国・欧州・日本を中心とした国際共同実験 XENON コラボレーションは、現在稼働している暗黒物質探索実験である XENONnT (ゼノンエヌトン) 実験において、太陽で生成されたニュートリノとキセノン原子核の散乱をはじめて観測しました。

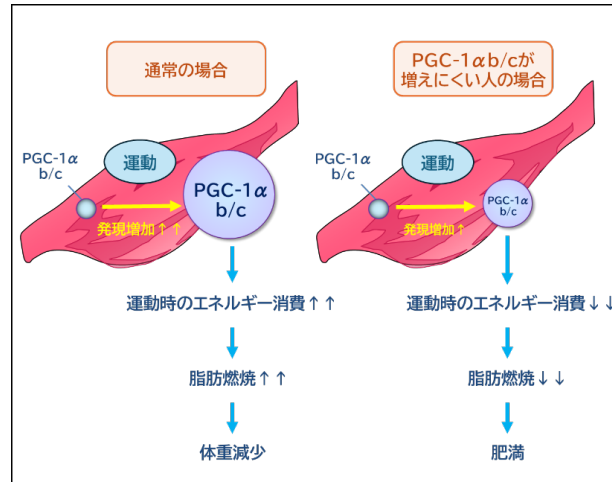


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240711-65811/>)

(3) 運動時の脂肪の燃えやすさを決めるタンパク質を同定

神戸大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科学部門の小川渉教授、徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野の野村和弘講師らによる研究グループは、運動時のエネルギー消費をコントロールするタンパク質の機能を解明しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240711-65800/>)

(4) 国内で最も絶滅リスクの高いチョウ、オガサワラシジミの繁殖途絶の原因を解明

中濱直之（兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授 兼 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員）、小長谷達郎（奈良教育大学理科教育講座准教授）、上田昇平（大阪公立大学大学院農学研究科准教授）、平井規央（大阪公立大学大学院農学研究科教授）、矢後勝也（東京大学総合研究博物館講師）、矢井田友暉（神戸大学大学院人間発達環境学研究科大学院生）、丑丸敦史（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）、井鷲裕司（京都大学大学院農学研究科教授）らの研究グループは、国内で最も絶滅リスクの高いチョウであるオガサワラシジミの繁殖途絶の原因を解明しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240712-65792/>)

【4】受賞・受章

(1) 池田直樹助教が「2024 年度日本社会学史学会奨励賞」を受賞

受賞者：池田 直樹（神戸大学国際文化学研究科助教）

受賞日：令和 6 年 6 月 22 日

受賞名：2024 年度日本社会学史学会奨励賞

業績名：『ピーター・L・バーガー——分極化するアメリカ社会と対峙した社会学者』（ナカニシヤ出版、2023 年）

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240626-65766/>)

(2) 「日本留学 AWARDS2024」西日本地区国公立大学部門で入賞

このたび、一般財団法人日本語教育振興協会「日本語学校教育研究大会」が主催する「日本留学 AWARDS 2024」において、神戸大学が西日本地区国公立大学部門で入賞しました。

「日本留学 AWARDS」は、外国人留学生の環境整備に貢献することを目的に、2012 年に設立された賞です。全国の日本語学校の教職員が、自校の留学生に薦めたい大学や大学院を投票で選び、表彰します。今年は全国の日本語学校約 128 校の教職員から 387 件の回答が寄せられ、神戸大学は国公立大学部門で上位に入賞しました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240701-65779/>)

(3) 佐川真人氏が「欧州発明家賞」と「中日文化賞」を受賞

神戸大学工学部及び工学研究科出身で、「ネオジム磁石」を発明した佐川真人氏（NDFEB 株式会社代表取締役社長、大同特殊鋼株式会社顧問）が、「欧州発明家賞」と「中日文化賞」を受賞しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240712-65814/>)

【5】フィーチャー

(1) 「農」を通じた地域と大学の連携—その実践から生まれるものは？

神戸大学は、「農」を通じた地域との連携が活発です。研究や教育だけでなく、農山村の課題解決、人材育成に向けた実践を積極的に進めています。兵庫県丹波篠山市では地元自治体と連携し、「丹波篠山フィールドステーション」などの活動拠点を開設。学生が農業について学んだり、研究者と現地の人材が協力して地域づくりに取り組んだりしています。今春には、食と農の価値創造やネットワークづくりを目指す組織「神戸大学フードコミュニティ」も立ち上げました。このような試みは、地域と大学に何をもたらすのか。神戸大学大学院農学研究科地域連携センターのセンター長、中塚雅也教授（農業農村経営学）に聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240711-65801/>)

(2) スポーツチームを医学で支える ―神戸大学の整形外科―

神戸大学医学部附属病院の整形外科は、スポーツ医療の分野で全国的に知られています。プロ野球、サッカー、ラグビーなどのスポーツチームを支え、試合やキャンプにも同行しています。けがからの再起を望む選手にとっては、最後のとりでともいえる存在です。さらに、中高校生や大学生の選手にも、検診などのさまざまなサポートを行っています。専門医集団としてどのような役割を担い、地域にどう貢献しているのか。神戸大学大学院医学研究科外科系講座整形外科の黒田良祐教授に聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240716-65812/>)

【6】特集

(1) 阪神・淡路大震災 30 年特設ページ

2025 年 1 月 17 日で阪神・淡路大震災の発生から 30 年となります。神戸大学は被災地の国立大学として、防災・減災や復興にかかわる研究に取り組み、研究成果の発信、地域社会への貢献を進めてきました。震災 30 年の節目に向け、2023 年 11 月には「神戸大学阪神・淡路大震災 30 年事業委員会」（委員長：藤澤正人学長）を設置し、今後の研究や教育、教訓の継承につながる幅広い事業を企画しています。

神戸大学は、震災で学生と教職員合わせて 47 人を失いました（旧神戸商船大学を含む）。その経験は常に研究の原点にあり、震災にかかわる資料の保存・継承、さまざまな被災地への支援活動にもつながっています。国内外で大災害が頻発する今、全学的な蓄積や取り組みを次世代に伝えるため、この特設ページを開設しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/collection/20240610-65710/>)

【7】イベント等情報

(1) 2024 年度企画展『神戸からの船出 ～近代日本・貨客船の光彩～』

現在、私たちが遠方に旅をする交通手段はおもに鉄道や飛行機であり、船は国際・国内物流でさまざまな貨物を運ぶ、輸送手段の役割を果たしています。けれども太平洋戦争以前は、船（貨客船）が荷物も人も運ぶ、唯一無二の方法でした。

貨客船は文字どおり、貨物と旅客を同時に運ぶ船のことです。19 世紀半ばに大西洋で定期船の運航が始まって世界的に貨客船が発達すると、ビジネスや移民、留学といった事情で遠距離を移動する人びとが増え、やがて、人員をより多く輸送する客船タイプの船が登場します。

世界中で船による定期航路が開設された 20 世紀前半は、貨客船の時代とも呼ばれ、各国が立派な設備をもつ船の建造と就航に力をそそぎました。

神戸大学海事博物館の位置する神戸港（現在の阪神港・神戸区）は、かつては南米航路をはじめ、太平洋・欧州といった大半の外国航路の出発港、ないしは重要な経由地になっており、国際貿易港として日本の主要な玄関口に位置づけられていました。今回は戦前における華やかなりし船の時代を取り上げます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/event/20240627-65771/>)

(2) その他のイベント情報

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/events/>)

★「KU-Net」からのお知らせ

「神戸大学コミュニティネットワーク(KU-Net)」をリニューアルし公開しております。

従来からの、「OB・OG 訪問」の機能に加え、「卒業生からのメッセージ」や「在学生の今」の掲載をしております。また、卒業生等が開催するイベントへの参加申し込み機能も追加しました。

詳しくは、神戸大学コミュニティネットワークホームページ
(<https://www.office.kobe-u.ac.jp/alumni-net/>)でお知らせしています。

また、KU-Net の説明動画を YouTube にアップしておりますので併せてご覧ください。
(<https://youtu.be/ZqHCVW0VsuU>)

是非ご登録ください。

★神戸大学校友会ホームページ

<https://www.ku-alumni.kobe-u.ac.jp/>

■支部所属の会員の皆様にもお知らせください

神戸大学校友会事務局

657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

TEL 078-803-5042 FAX 078-803-5024

E-mail: plan-ku-alumni@office.kobe-u.ac.jp